

文芸ひろば

詠歌の紹介

千代田俳句同好会

曲がり屋の苔むせし屋根草の花
木の実落つ古代の人の住みし丘
鳳仙花弾け子孫を継ぎにけり
夫の背に望郷と書き後の月
橋の上すかな日向赤蜻蛉

紫陽花俳句会

さよならと急ぐ夏の秋の暮
しみしと幸かみしめて今年米
麦御飯昭和は遠きころろ汁
今年米手のひらで見る出来不出来

出島短歌会

歩みゆく遠くかなたにひそまりて西山荘の竹林が見ゆ
ハワイアンダンスのように扇をこえ風にゆれる凌霄花
入笠の山稜白く染めあげて夏の訪れ告げるすずらん
物言わず心の中を通りゆく静まりし夜の雨音よきる

投稿作品

中秋の名月和む老いの身に望みをかける明日への幸を
秋深みころに倦を誘う季節廃屋の底柚子の実たわわ
利尻岳の空も彼の日に変わらぬにつしか越えて古希を迎えん
ふわふわと心も身も笑みみみみなる輪になる高齡化
海程の失敗ありて山程の後悔背負い今日も生きてる
東福寺ホウキと遊ぶ落葉かな
根菜鍋の彩り吉に乗る
チラシ見て店に近づき大股に
錦秋をすべり落ち四度の滝

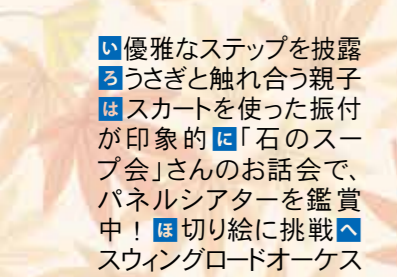
桜井筑娃
中島暉子
萩原初枝
福田妙子
加藤貞江

飯田功
車田きみ
田能幸雄
萩原とし子

岡田恭子
須崎三代子
仲谷香代子
名倉靚子

石塚清
治野はつ子
中島良平
紫峰
菅谷味子
石橋たかの
やまぐちさむ
いいだいきを
宇津野野蛙

▶投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集しています。12月4日(日)までに情報広報課(〒300-0192 大和田562番地)へお願いします。
なお、応募多数な場合には掲載されない場合がありますのでご了承ください。



い 優雅なステップを披露
ろ さぎと触れ合う親子
は スカートをを使った振付が印象的
に 「石のスープ会」さんのお話会で、パネルシアターを鑑賞中！
ほ 切り絵に挑戦
へ スウィングロードオーケストラの皆さんとオニツカサリーさんのコラボレーション
と 不要図書の無料配布を実施
ち ハロウィンの手作り衣装でダンス
りめ 展示作品の会場の様子
市内3中学校吹奏楽部の合同演奏

Camera Report

ふれあい生涯学習フェア2017

10月7〜9日、あじさい館で「ふれあい生涯学習フェア2017」が開催されました。

8日には、ジュニア和太鼓やフラダンスなどのステージ発表が行われ、今までの練習の成果が発表されました。その他にも、館内では文化団体や児童による作品展示、文化体験では切り絵に挑戦したりと思いいいイベントを楽しみました。

特別企画として、不要図書の無料配布やミニふれあい動物園などもあり、今年のテーマである「ディスプレイ」が、今年のかすみがうら集まるうーみんなで「」を表すように会場には、たくさんの人でにぎわいました。

生涯学習課



かすみがうら市のジオ食



さつまいも

茨城県のさつまいもは、栽培面積・生産量ともに全国第2位です。
さつまいもの原産地は中米ですが、日本には中国を経由して伝わってきました。最初は琉球に伝わったといわれています。その後、種子島に伝わり、1700年代に薩摩藩が栽培を始めるようになりました。

1732年の享和の大飢饉があり、さつまいもが注目を集め、江戸幕府の目に留まり、徳川吉宗によって起用され青木昆陽らによって広まりました。
さつまいもは、赤土のなだらかな傾斜のある畑で、水はけのよい土地を求めます。関東ローソク層でおおわれているかすみがうら市の台地はさつまいもの栽培には適しています。

自然食ブームにより豊富な品種が揃う昭和20年代〜30年代は食糧不足でさつまいもが米の代わりになっていて、多くの年配者はさつまいもを見ると当時のことを思い起こし、拒絶反応があります。近年の自然食ブームと共に、近代的な貯蔵方法でさつまいもを抽出しています。品種も多数あり楽しめます。
熟王紅こがね(しっとり甘く濃厚な風味)。

味、紅こがね(ほくほくとした食感としりかりした甘み)、紅まさり(しっとり滑らかな舌触り)、紅ゆうか(水あめのような強い甘さ)、紅あずま(心温まるほくほく)、紅はるか(甘いのに、後味すっきり)、シルクスweet(絹のような滑らかな食感)。皆さまはどれがお好きですか。色々味わってください。



さつまいもの栄養分
さつまいもに含まれる主な有効成分と効用は、加熱しても残るビタミンCが風邪の予防や疲労回復、肌荒れに効果があります。食物繊維は、多くありませんがほかの野菜と違い、多く食べられますので結果的にたくさん食物繊維が取れます。ヤラピン(白い液体は、便秘改善、カリウムは、塩分を排出する役割があり、高血圧にも効果があります。紫品種のアントシアニンは、目に優しく、ビタミンEは、体内にある活性酸素を減らします。以上身体に良いことばかりです。
さつまいもは、蒸かす・煮る・焼く・干すなど楽しみがいっぱいの食べ物です。

問 歴史博物館 0296(080)0017 (深井征一郎)